

科目名	安全政策論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			法律学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Safety policy	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年		
			開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	さとう かつえ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	佐藤 克枝	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	社会における安全政策について学ぶ。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 日本の治安情勢についての説明できる。 2 社会の安心・安全のための政策についての知識が身につく。 3 自身の立場で安全政策に貢献すべきことについて考えることができるようになる。				
授業概要	安全政策は、国だけでなく民間企業や社会全体で取り組むべき問題です。ハード面では、高度経済成長期に整備されたインフラは、補修や更新すべき時期に来ており、早急な対策が求められています。それらの対策についても学びます。また、犯罪や災害の現状と対策についても個々の政策等を学びながら、リスクやクライシスマネジメントのあり方について考察します。実際に安全政策にかかわる自治体の関係者をゲストスピーカーとして招くことも考えています。				
授業計画					
第1回	安全政策論とは (ガイダンス)				
第2回	現代社会とリスク				
第3回	自然災害				
第4回	社会災害				
第5回	犯罪予防				
第6回	犯罪対策				
第7回	リスクマネジメント・テロ対策				
第8回	前半のまとめ・中間試験				
第9回	防災・減災のためのシステム				
第10回	政府・地方公共団体の防災対策				
第11回	民間の防災システムと事業継続計画				
第12回	被災者支援				
第13回	企業とコンプライアンス				
第14回	リスクコミュニケーション				
第15回	全体のまとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前には教科書の該当箇所必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(2時間程度) 2. 単元毎に、前回講義内容の確認を行います。講義の復習をしっかりと行ってください。(2時間程度)				
履修条件 受講のルール	教科書を必ず購入してください。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡がなく欠席した学生には原則として配布しませんので、友人同士でコピーしてください。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。				
テキスト	関西大学社会安全学部編『社会安全学入門』(ミネルヴァ書房)				
参考文献・資料	警察白書(令和元年版)、犯罪白書(令和元年版)、警察政策学会編『社会安全政策論』(立花書房)、前田				

	雅英『現代危機管理論』（立花書房）
成績評価の方法	<p>【試験（中間40%、期末40%）、受講態度20%】</p> <p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	火曜日14:40～16:10・水曜日14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として法務業務に携わり、コンプライアンスのほか、防災業務にも関わりました。この授業をとおして、国や地方自治体の実際の防災対策や官民連携の実情についても話したいと思います。
学生へのメッセージ	安心・安全な社会の実現について興味のある学生の積極的な参加を期待しています。具体例を引きながら皆さんが、これからどのようなことができるのかを考えていきましょう。